

【概要】

G7教育大臣会合に参加された米国代表団の依頼により、G7富山・金沢教育大臣会合のロゴマークを制作した富山大学の学生と、米国代表のマクローリン教育長官上級顧問との面会が実現したものの。

【日時・場所】 日時:令和5年5月13日(土)16時～16時40分
場所:富山国際会議場 会議室

【参加者】

米国代表団:マウリン・マクローリン教育長官上級顧問兼国際問題担当部長、
ほか随員5名

富山大学:芸術文化学部 講師1名(岡本 知久(おかもと ともひさ))

学生4名 (谷一 菜緒(たにいち なお)、和久田 美紅(わくだ みく)、
板橋 二智香(いたばし にちか)、森 美緒 (もり みお))

【米国代表団からのコメント(概要)】

- ①来県して、**街中のいたるところにこのロゴマークがあり、とても素晴らしいデザインだと思った。地元の大学生が制作したと知り会いたいと思った。**
- ②デザインの細部に両県の情報が詰まっていて**とても練られたもの。これをわずか2ヶ月で制作したと聞き、すごいことを成し遂げたと思う。**
- ③将来は何をしたいですか。**海外留学に興味はありますか。**アメリカにはデザインの大学はたくさんあり、興味をもってくれたらうれしい。
- ④今日の**資料に皆さんにサインしてほしい。自分のオフィスに飾りたい。**
- ⑤私たちは、世界が抱える難しい問題を話し合っている。そんな中、**皆さんの作ったロゴマークが私たちを優しく和ませてくれたことに感謝する。**

【富山大学の学生からのコメント(概要)】

- ①米国代表の方から、私たちに会いたいと言ってくださるなんて、大変光栄であり、信じられない。すごく嬉しい。
- ②両県の魅力を太陽に詰め、子供たちの未来を輝かせることを表現した。
- ③まさか大学在学中に、このような重要なロゴマークを制作する機会に恵まれるとは思っておらず、今後の人生にすばらしい経験をさせてもらった。
- ④世界中の人たちに私たちが作ったデザインを見てもらえ、とても誇らしい。
- ⑤海外留学にも興味はある。
- ⑥今後もコミュニケーションを生み出すプロモーションに携わっていきたい。

ロゴマークを制作した学生と米国代表団との面会について

富山県



ロゴマークを制作した学生と米国代表団との面会について

富山県



ロゴマークを制作した学生と米国代表団との面会について

富山県

